



甲南女子学園 2026年度事業計画

目 次

2026年度の事業計画の策定にあたって

- 1. 各計画の位置づけ P2
- 2. 長期ビジョン2030 P2
- 3. 第6次中期計画（2024～2026年度） P3

2026年度の主な取組等

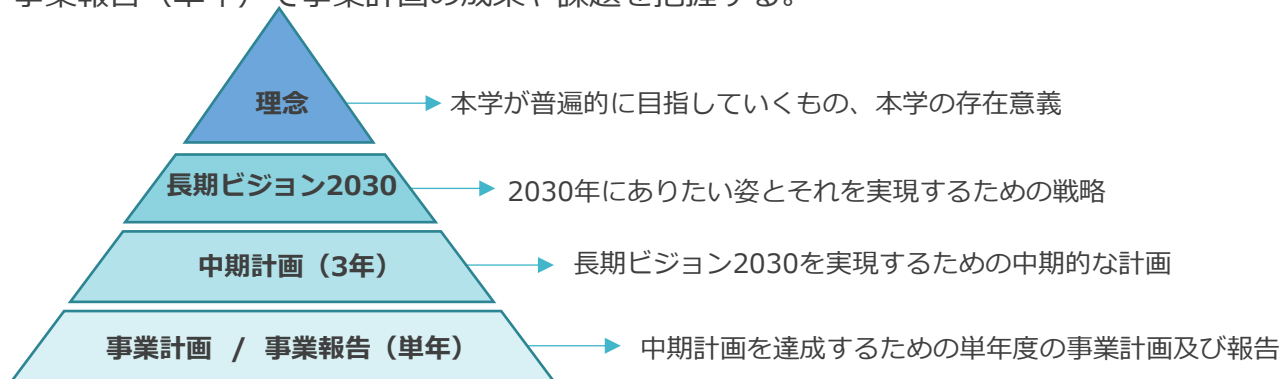
- 1. 教育の質の向上 P3
- 2. 情報収集機能の強化 P4
- 3. 学外への情報発信力の強化 P4
- 4. 組織体制の強化 P4
- 5. 財務基盤のさらなる強化 P5

甲南女子中学校・高等学校の主な取組等 P5

2026年度の事業計画の策定にあたって

1. 各計画の位置づけ

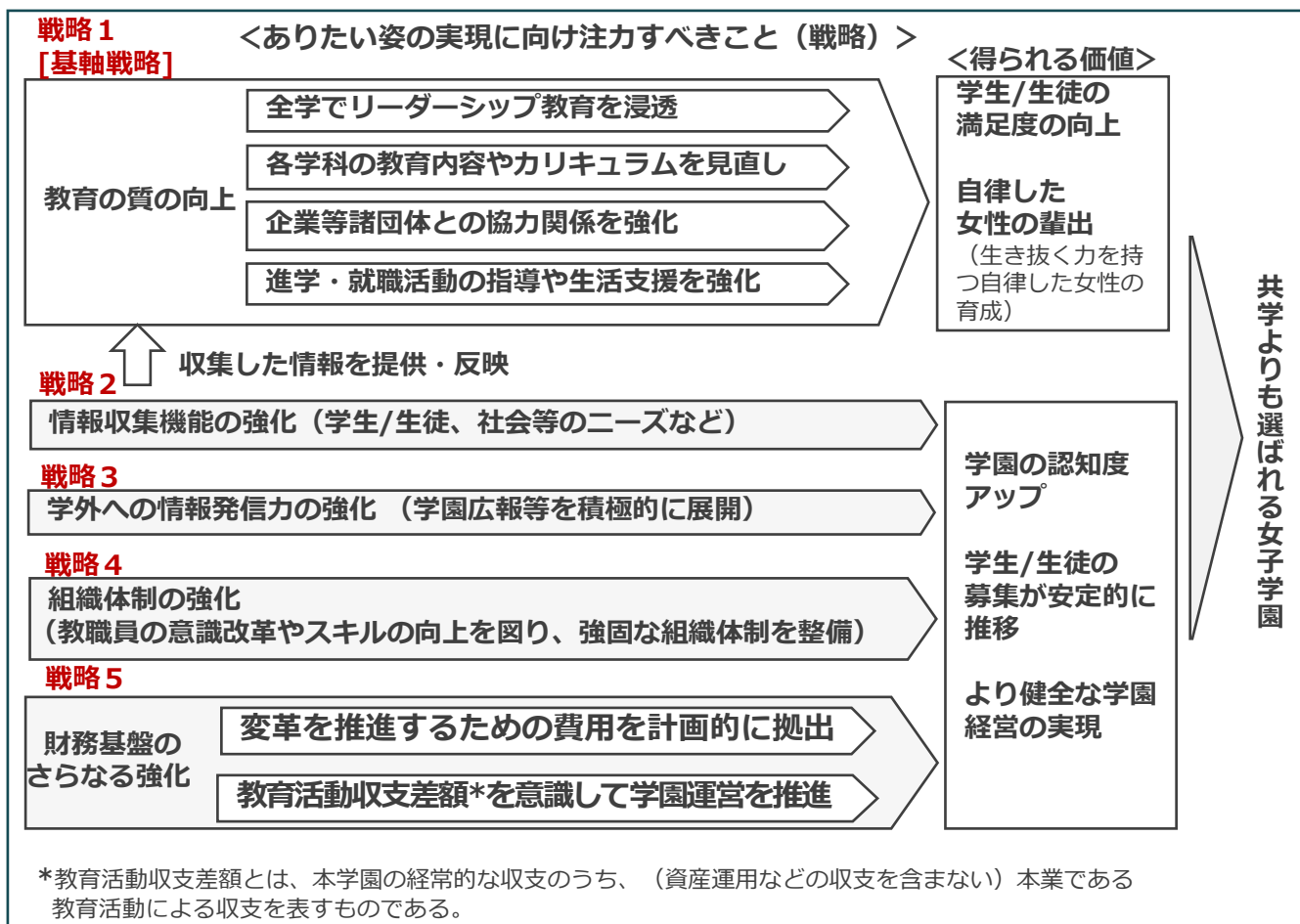
建学の理念の実現に向けて、長期ビジョン2030で2030年にありたい姿とそれを実現するための戦略を定め、その上で、中期計画（3年）で長期ビジョンの実現に向けたロードマップを描く。そして、事業計画（単年）で中期計画を達成するための単年度計画を策定するとともに、事業報告（単年）で事業計画の成果や課題を把握する。



2. 長期ビジョン2030

2030年にありたい姿

少子化の進展や女性の社会進出、DXの加速化など近年の社会経済環境の変化を踏まえながら、学園を挙げて変革を推し進め、教育の質の向上等を通じて、学生/生徒の満足度を高めるとともに自律した女性を輩出することにより、「共学よりも選ばれる女子学園」となることを目指していく。



3. 第6次中期計画（2024～2026年度）

「2030年にありたい姿」の実現に向け、第6次中期計画（2024～2026年度）において下表の重点施策を推し進めていく。

戦略	重点施策
1. 教育の質の向上	「リーダーシップの甲南女子大学」を徹底
	各学科及び中高の教育内容や教育カリキュラムを見直し
	企業等諸団体との協力関係を強化
	進学及び就職活動や学生/生徒生活を支援
2. 情報収集機能の強化	教職マネジメントを強化
	志願者、学生/生徒のニーズの収集機能を強化
	保証人/保護者のニーズの収集機能を強化
	社会、企業のニーズの収集機能を強化
3. 学外への情報発信力の強化	マーケット情報の収集機能を強化
	各ニーズの分析に基づく広報を展開
4. 組織体制の強化	学生/生徒や社会が興味を持つ話題の創出と発信
	教職員一人ひとりのスキルアップ
	当事者意識の向上
5. 財務基盤のさらなる強化	ガバナンス体制を強化
	変革を推進するための費用を計画的に拠出
	教育活動収支差額を意識して収支の適正化を実施

2026年度の主な取組等

1. 教育の質の向上

第6次中期計画の終了時点で到達している状態	2026年度の主な取組等
(1)受験生から「リーダーシップの甲南女子大学」が認知されている。	<ul style="list-style-type: none"> リーダーシップ科目の全員受講体制をより円滑に運営する。 受講生の満足度を高めるため、より分かりやすい授業にするとともに一人ひとりに個別のフィードバックを行う。 リーダーシップ教育を全てのオープンキャンパスでPRするほか、2025年度に開設したリーダーシップ教育センターが中心となって「新リーダーシップ教育の甲南女子大学」の認知を高めるための具体的な取組を推し進める。
(2)各学科及び中高が、学生/生徒等のニーズを踏まえながら、教育内容や教育カリキュラムの見直しを継続的に行っており、強みを打ち出し続けることで教育面での競争力が向上している。	<ul style="list-style-type: none"> 各学科の教育内容や教育カリキュラムについて、学生等のニーズを踏まえながら継続的に見直しを行い、各学科の競争力を着実に高めていく。
(3)企業/自治体/NPOなどと連携して、特色ある教育が展開できている。	<ul style="list-style-type: none"> 26年度の社会連携テーマを設定し、それに基づき企業等と新たな連携やイベントを行っていく。
(4)就職活動や学生生活を支援するとともに、学生/生徒の満足度の現状把握と分析等を行い、その結果が施策に反映されている。	<ul style="list-style-type: none"> 就職実績をより高めるために、キャリア科目を充実させて、その受講を推奨する。 国家試験の合格率や資格取得者数等を向上させるための施策を継続して推し進める。 学生の満足度向上を企図して調査を行い、その結果をもとに満足度をより高めるための施策を新たに実施する。
(5)3つの方針（※DP、CP、AP）を起点とした教育の展開、点検と評価、質の向上に取り組んでいる。 ※DP:ディプロマポリシー CP:カリキュラムポリシー AP:アドミッションポリシー	<ul style="list-style-type: none"> データの集計・分析ツールを活用して、学生の学修成果等の達成状況を確認するとともに、可視化を行い、その分析結果（成果と課題）を学内外に公表する。 このうち課題については、改善・解決するための施策等について検討を行い、本学の教育の質向上につなげていく。

2. 情報収集機能の強化

第6次中期計画の終了時点で到達している状態	2026年度の主な取組等
<p>各学科及び各部門が目的達成のために必要な調査やデータの分析等を行い、情報を共有するとともに、必要に応じ仮説の検証を進めている。また、各ニーズや情報が、教育内容や各施策に反映されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各学科や各部門が目的達成のために収集した情報を2025年度に開設したIRセンターに集約し、同センターは、これを分析した上で学内に共有する。 各学科や各部門では、その共有された情報等をもとに、各戦略において新たな取組を進めていく。

3. 学外への情報発信力の強化

第6次中期計画の終了時点で到達している状態	2026年度の主な取組等
<p>(1)効果の高い学園広報等が展開できており、甲南女子大学の認知度が向上している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> オープンキャンパスをより充実したものとし、来場者数を増やしていく。 新設する学部の情報発信を強化する。 本学の認知度向上に向けて、マス広告（TVCM・交通広告）やWeb広告などを推し進めていく。 リーダーシップ教育をはじめ、改組の動き、就職実績、企業等と連携した取組、学生の高い満足度などをテーマにして、「動きのある甲南女子大学」を訴求していく。
<p>(2)学生/生徒や社会が興味を持つ話題を発信できており、それに伴いメディアの掲載数が増加している。また、教員のメディアへの掲載や出演が増えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本学からマスコミへのニュースリリース件数を更に増やしていく。 各種媒体における本学関連記事の掲載数を増やしていく。

4. 組織体制の強化

第6次中期計画の終了時点で到達している状態	2026年度の主な取組等
<p>(1)人事/組織/（研修制度など）制度面の改革が行われ、運用されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 職員の新人事制度の運用を開始し、着実に浸透を図っていく。 組織の大括り化をはじめ、引き続き必要な組織再編を推し進めていく。
<p>(2)教職員一人ひとりが、これまで以上に当事者意識を持って、学園のことや学生/生徒のことを考え、教育や業務に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本学の状況や取り巻く環境等について、定量的な資料を用いて教職員に繰り返し説明する。
<p>(3)私立学校法改正への対応が完了している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 左記を踏まえた新体制の下で、業務の効率化と迅速化を進めていく。 新しく整備した内部統制システム等を円滑に運営していく。

5. 財務基盤のさらなる強化

第6次中期計画の終了時点で到達している状態	2026年度の主な取組等
変革を推進するための費用を計画的に拠出しながらも、教育活動収支差額をよく意識して収支の適正化を図っている。	<ul style="list-style-type: none">・教育の質の向上や魅力ある学習環境の整備、情報発信力の強化等を推し進めるため、これらにかかる費用は積極的かつ計画的に拠出していく。・その一方で、収支の適正化を図るため、各種収入の増加に努めるとともに、経常的な経費や更新投資の削減をできる限り推し進めていく。

甲南女子中学校・高等学校の主な取組等

2026年度の主な取組等
<ul style="list-style-type: none">・国公立大学合格のための個別支援体制を強化していく。・探究的な学びとICTや生成AIを活用した学びを推進する。・様々な大学の理系女子を対象とした体験プログラムへの参加を推進する。・海外の大学への進学支援体制を構築していく。・業務の効率化を目的とした組織の改編を行う。

以上